

ジョジョ・ラビット (2019)

JOJO RABBIT

メディア 映画

ジャンル コメディ ドラマ 戦争

製作国 ドイツ/アメリカ

色彩 Color

時間 109分

初公開日 2020/01/17

公開情報 ウォルト・ディズニー・ジャパン

映倫 G

【キャッチコピー】

愛は最強。

【解説】

「シェアハウス・ウィズ・ヴァンパイア」「マイティ・ソー バトルロイヤル」の奇才タイカ・ワイティティ監督が第二次世界大戦下のドイツを舞台に贈る感動のヒューマン・ブラック・コメディ。ヒトラーユーゲント（ナチス青少年団）の立派な隊員に憧れる10歳の愛国少年が、自宅にユダヤ人少女が匿われていることを知ってしまい、少女との思いがけない秘密の交流を通して真実に目覚めていく姿を、戦争への辛辣な眼差しとともにユーモラスに描き出す。出演は主人公の少年役にオーディションで選ばれた新星ローマン・グリフィン・デイヴィス、ユダヤ人少女にトーマシン・マッケンジー。スカーレット・ヨハンソン、サム・ロックウェルらが脇を固める。またタイカ・ワイティティ監督自ら、主人公の想像上の友だち（イマジナリーフレンド）であるヒトラー役を熱演。

第二次世界大戦下のドイツ。母のロージーと2人暮らしの10歳の少年ジョジョは、憧れのヒトラーユーゲントの合宿に参加する。想像上の友だちであるアドルフの叱咤激励を受けながら、クレンツェンドルフ大尉の厳しい訓練を懸命にこなしていくジョジョだったが、心優しい彼は臆病者とバカにされ、“ジョジョ・ラビット”という不名誉なあだ名をつけられてしまう。そんな中、ジョジョは自宅でロージーによって匿われていたユダヤ人少女エルサの存在に気づいてしまう。忌み嫌うユダヤ人を前にしてパニックになるも、やがてアドルフやヒトラーユーゲントの教えに反してエルサに心惹かれていくジョジョだったが…。

【クレジット】

監督	タイカ・ワイティティ	Taika Waititi
製作	カーシュー・ニール	Carthew Neal
	タイカ・ワイティティ	Taika Waititi
	チェルシー・ウィンスタンリー	Chelsea Winstanley
製作総指揮	ケヴァン・ヴァン・トンプソン	Kevan Van Thompson
原作	クリスティーン・ルーネンズ	Christine Leunens
脚本	タイカ・ワイティティ	Taika Waititi
撮影	ミハイ・マライメア・J r	Mihai Malaimare Jr.
プロダクションデザイン	ラ・ヴィンセント	Ra Vincent
衣装デザイン	マイエス・C・ルベオ	Mayer C. Rubeo
編集	トム・イーグルズ	Tom Eagles
音楽	マイケル・ジアッキノ	Michael Giacchino
出演	ローマン・グリフィン・デイヴィス	Roman Griffin Davis ジョジョ

トーマシン・マッケンジー	Thomasin McKenzie	エルサ
タイカ・ワイティティ	Taika Waititi	アドルフ
レベル・ウィルソン	Rebel Wilson	ミス・ラーム
スティーヴン・マーチャント	Stephen Merchant	ディエルツ大尉
アルフィー・アレン	Alfie Allen	フィンケル
アーチャー・イエーツ	Archie Yates	ヨーキー
サム・ロックウェル	Sam Rockwell	クレンツェンドルフ大尉
スカーレット・ヨハンソン	Scarlett Johansson	ロージー